



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

OSAKA YMCA
1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
OSAKA, JAPAN

2020年3月 No.454
Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『40周年に向けた一歩』 国際会長 : 『より良い明日のために今日を築く』 アジア太平洋地域会長 : 『アクション!』 西日本区理事 : 『風となれ、ひかりとなれ』 中西部部長 : 『為せば成る』	会 長 : 中村 茂高 副会長 : 三浦 直之 書 記 : 大村 肇 ドライバー : 大村 肇 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 中村 幸枝 YMCA 連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of March

「死の陰の谷を行くときもわたしは災いを恐れない。あなたがわたしとともにいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖、それがわたしをかづける」
(詩編 23 章 4 節)

新型コロナウイルスに思う

岡本 剛介

この数週間、新型コロナウイルス感染拡大で日本は乱れております。我が家も、幼稚園が休園、会社の計画と日常の歯車が狂ってしまいました。

子どもたちについては親仲間と協力し預かり合い、会社については通勤を車にするなどリスクを最小限にする努力の最中です。

予測できない不安は、人の心をさらに不安定にさせますが、今すぐ自分ができる人の役に立つことに集中し、行動すれば、この経験はきっと日本人の大きな財産になると思います。ピンチはチャンス。

どうか良い結果となりますように。



March Club Meeting

『JWF』

3月第1例会 (新型コロナの影響で中止)

日 時 : 2020年3月19日 (木) 18:30~20:30
場 所 : ホテルグランヴィア大阪

中止

お誕生日 : 岡本麗香、谷川有美子、中村珠実メネット、松浦、花本メン
1月=武田かおる、中村幸枝、中井祥子メネット、中村茂、三浦メン
2月=石津メン

*誕生日プレゼントは4月の例会時にお渡しします。

3月第2例会

日 時 : 2020年3月25日(水) 18:30~20:30
場 所 : 土佐堀YMCA会館4階

【クラブ統計 Statistics】

2月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	12名	6名	2月 0g	2月 10,600円
例会出席 13名	メネット	3名	0名	現 金 0円	
うちメーキャップ	ビジター	8名	0名	累 計	
0名	ゲ ス ト	0名	0名	切 手 204g	累 計 : 73,200円
出席率 72.2%	合 計	23名	6名	現 金 0円	オ-ｸﾞｼﾞﾝ 1,500円

【今月の聖句】

神様は私たちが窮地に陥り、死の危険にさらされるような試練の中にも、私たちを見捨てることなく、いつくしみ、不安と孤独を取り除いてくれます。私たちは今こそ、きっと神様が外敵から守る「鞭」となり、導く「杖」となり、守ってくださるという強い信仰をもつ時でしょう。

(聖句選/コメント: 中村 茂高)

2月第1例会(偲ぶ会)

2020年2月16日(日)午後3時~5時に大阪YMCA10Fチャペルで、故・藤原正巳さんを偲ぶ会を行いました。参加者は大阪YMCA学院高校校長の鍛治田千文さん、なかのしまクラブから5名、土佐堀クラブ1名、大阪クラブ1名、センチニアル15名(内メン12名、メネット3名)の合計23名でした。

中村会長の開会点鐘で始まり、ワイズソング、谷川メンによる祈祷、和田早苗さん(なかのしまクラブ)の奏楽により讃美歌312番「いつくしみ深き」を全員で歌いました。

続いて故・藤原さんの映像をスクリーンに写して見ました。お元気だったころの懐かしい写真、ビデオが流れあの人懐っこい笑顔が鮮やかによみがえってきました。

続いて、エピソード紹介では、①鍛治田千文さん②三浦直之③坂本千春さん④谷川寛さんの順に思い出の数々を語りました。

鍛治田さんはダンディだった故人の思い出などを、坂本さんはハワイ旅行、香港旅行の思い出などを、谷川さんは長年にわたる故人との交流、トルコへ共に旅した時の思い出などを語っていただきました。

続いて、出席者で懇談の場を持ち、それぞれのテーブルで、ありし日々を偲びました。

また、この時、山中さんよりアメリカのニューヨークでの藤原さんとの出会いや海外での交流の思い出を語っていただきました。

次に讃美歌「神とともに居まして」を斉唱し、連絡報告事項を行った後、中村会長の点鐘で閉会しました。

藤原さんのワイズメンズクラブ、中でもセンチニアルクラブへの比類ない多大な貢献に感謝申し上げますとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(三浦 直之)

≡≡≡ Club Activities January 2020 ≡≡≡

This month, honoring the memory of the late Masami Fujiwara, our club member, who passed away last year, we held the monthly meeting in the afternoon of Sunday, February 16th at the Osaka YMCA bldg., expecting other club members, with whom Fujiwara-san associated would join.

More than 23 people gathered on this occasion to cherish good memory of his character. Several people spoke out his or her good memories with Fujiwara-san, reflecting his leadership, good sense of humor, his dedicated service to our club and our movement. We all miss him very much.

It was indeed a memorable meeting for all of us.

All the information about coming events was shared among us.

Kan Tanikawa



いつも率先して物事に取り組んでいた藤原正巳メン



明るく、ダンディな藤原メンは、今も私たちの心のなかに

谷川 寛

11 月末、“先進国市場を対象とした輸出振興・マーケティング戦略”(Export Oriented Marketing Strategy)と題するグループの授業を担当しました。

西アジアを中心に8カ国の一行です。彼らは事前に日本の戦後の輸出振興政策・経済成長の事例を研究していました。従って、質問も的確でした。戦後、貴重な外貨(米ドル)を原材料の輸入に優先的に割り当てる輸出振興政策は、モノ造りの革新を生み、日本の高度成長を実現させました。この政策の下では、対ドル円レートは、円安が好ましく、今もその政策を推し進めているのか?という質問がありました。

2000 年代に入り、日本人の生活水準の向上と共に人件費も上がり、それに伴い日本製造から工場を海外シフトする傾向が強まりました。最近、日本全体の輸入が輸出を上回る月もあり、完成品の輸入が増えると、円レートは、むしろ円安より円高の方が好ましくなるケースが増えています。海外生産で稼いだ利益(Royalty などを含む)が、国内へ送金されてくる事例も増えています。従って、政府、日銀も円安政策を必ずしも進める考えでない実状を説明しました。日本経済の大きな構造変化です。戦後の輸出依存の経済からの脱却です。

さらに、GDP (国の富みを表す国内総生産)にも変化が表れています。先進主要国の GDP にも、従来の Physical Asset (有形資産)と Intangible Asset (無形資産)の割合が拮抗するか、逆転現象が現れている点です。モノの生産を主力とする設備投資が 20 世紀の経済の主力であったのが、近年、無形資産の投資の割合が増えています。米国の GDP はそれが顕著です。GAFA の躍進に現れています。日本の GDP は相変わらず自動車生産を中心の機械や工場などのモノの優位が続いていますが、それでも、R&D やブランドなどの無形資産の割合が、徐々に増えています。海外の生産で儲けた利益が、GDP に加算される海外投資の利益も増加しています。デジタル経済の進展に伴い、見えるモノ投資から見えないモノの投資へのシフトです。先進国経済は、モノの製造力では、中進国経済と競争できなくなって来ています。日本の GDP の内訳も、このように大きく変化せざるをえない実状を説明しました。今回の参加者は、Armenia, Colombia, Jamaica, Moldova, Pakistan, Serbia, Uzbekistan からです =写真。



2 月第 2 例会報告

と き：2 月 26 日(水) 18:30~20:00

ところ：大阪 YMCA 会館 4F

出席者：石津、大村、芝田、中村茂、何、三浦

〈今後の例会〉

4 月＝「高山右近と教会の歴史」高槻クラブ・萩原博子
メネット

5 月＝「現代の日韓文化交流」藤井幸之助さん

〈クラブ活動〉

* 桂吉弥落語会(3/28)の新型コロナウイルス感染拡大による中止の事後処理。3/19 の例会で立替えなどを精算する。中西部会長宛メール配信。各メンバーへの連絡。

* 西日本区大会(6/12-14・びわ湖)モリス・シモニシさんとの IBC 交流。また、6 月初旬、ウェスファミリーとの交流会実施。

(第 2 例会議事録より抜粋)

YMCA ニュース

お知らせ

大阪 YMCA では、新型コロナウイルス感染症拡大への対策のため、不特定多数の方が参加されるすべてのイベント、プログラムおよび集会を 3 月 20 日まで中止または延期します。また、その後につきましては、状況を見ながらの決定となり、追ってご案内申し上げます。ご理解、ご了承くださいませようお願い申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

船戸 輝久



2 月 22 日、ANA クラウンプラザホテル神戸で開催された神戸クラブ 90 周年大会に参加した面々



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ゲスト、ビジターからのメッセージ》

○こんな機会をありがとうございます。(鍛治田 千文)

○同期の仲間を先に天に送り、極めて淋しいことです。会長を同時期に担当、共に大学で教えるという間柄なので、Y'sを離れて話しがよく合いました。同病相憐れむという中で、やがて私も彼を追いかけていくことになるでしょう。“やがて会いなん、愛でにし者と”。〈讚美歌〉(川岸 清)

○私の知らない藤原さんのエピソードを沢山お聞きしました。偲ぶ会というのでしんみりかなと思っていましたが、とても楽しかった！です。私自身にも特別な香港のことをお話したかったです。(國友 朝子)

○なつかしい藤原さんの映像を見せて頂き、ただただなつかしく胸がつまりそうになりました。長いこと、山田共々、いろいろお世話になりました。改めてありがとうございました。(杉浦 眞喜子)

○新しい藤原さんに出会う「偲ぶ会」に出席できました。トトと山田メンと夫と4人で、同志社校歌(?)を歌いたいと、私におっしゃったのを思い出しました。ありがとうございました。(藤好 基子)

○故藤原正巴メンの偲ぶ会に是非参加したく、主日の午後礼拝後、予約もなしに参席させて頂きました。藤原先輩は、私がY'sに入会した時、あこがれの国際人でした。Y'sと人々への人間愛にあふれた真のY'sメンでした。少しでも、それに倣ってY's奉仕に努めたく存じます。(牟 大盛)

○ダンディな藤原さま、、、やさしいほほえみと素敵なお声思い出します。もう少し、外国の話や音楽の話をお聞きしたかったです。(吉田 由美)

○友の語る思い出を聞いて、温かい気持ちで藤原メンを思い出しています。ある時の新年会の帰り、メンと一緒になり多さ家気を通り抜け、阪急に向かっていく時、私の指輪の大きなパールがころんころんと転がっていき、止めるのもそうだけど、笑いが止まらず、二人で笑いころげました。(和田 早苗)

《会員、メネットからのメッセージ》

○今日は藤原メンを偲ぶ時間を頂けたことに大変感謝しております。藤原さんに言えなかった感謝の気持ちやお礼を今日伝える事ができ、ちゃんとお別れができた気がします。天国からも見守ってください。ありがとうございました。(岡本 剛介)

○長年クラブに多大なご奉仕をしていただきました藤原メンを偲ぶ会に多くのご参加をいただき皆様と共に在りし日の藤原さんのことを思い出されたい日でした。(大村 肇)

○藤原さんの思い出とともにクラブの歴史をふり返ることができてよかったです。藤原さんありがとう。(坂本 千春)

○藤原様偲ぶ会、メンバーの皆様とのエピソード他聞かせて頂き、感慨深い気持ちです。公私ともに沢山教えて頂きました事、一生心に刻んでこの先もう暫く頑張ります。藤原様ありがとうございました。もう一度お逢いたい！！(芝田 光雄)

○藤原さんの偲ぶ会、楽しい一時でした。(谷川 寛)

○藤原さんの足跡をたどりながら、ワイズメンはどうあるべきかを学ばせていただいた有意義な一日でした。(中村 茂高)

○故藤原メンの思い出を再び感じることに感謝します。(中村 隆幸)

○藤原さんとの深い交わりのある方々のエピソードを伺い、本

当に幅広い見識と大きな視野とともに、細やかなお心遣いをされていらっしやったことを改めて知ることができました。

素晴らしい先輩にこの世でお会いできないさびしさでいっぱいです。(船戸 輝久)

○今日は映像や皆さんのお話を聞き、藤原さんの新しい面や人なりを知り、あらためて素敵な方だったなと思いました。マレーシアやハワイでゴルフをご一緒した事をなつかしく思い出しました。楽しい思い出を有り難うございました。(松浦 和子)

○藤原さんの偲ぶ会に際しまして、ご冥福をお祈り申し上げます。永年のセンテニアルワイズへの熱心で顕著なお働きに感謝申し上げます。藤原さんはいつまでも私の心に生きています。(三浦 直之)

○本日この例会に参加出来た事は誠に幸せなことでした。これを心に止めて、この後の人生をしっかりと生きて行きたいものです。(山田 孝彦)

○藤原正巴さんを偲ぶ例会、大変意義のある会合で、藤原さんの長所、素晴らしい人柄が浮き掘りされました。(山中 秀男)

○藤原さんに色々教えていただきありがとうございました。きっと天国でもダンディさをかもし出していらっしやる事でしょう。やすらかに！(山中 ちあき)



後記

○2月例会の偲ぶ会では、あらためて藤原正巴メンのクラブに貢献してくれた大きさを、私たちは知る事になりました。必ず復活してくれると信じていただけに、突然とも思えるその死は無念でなりません。しかし私たちは氏を通じて、ワイズメンについて考えさせられた有意義な一日でした。

○ひたひたと不気味に私たちに忍び寄る不気味な新型コロナウイルスの感染拡大。私たちの活動も状況に応じた冷静な対応をしていく必要があります。

Shige